

# 『自分の成長 = 市民の笑顔』

枚方東消防署 警備課本署 救助担当 消防士長 かたやま しんじ 片山 真志(36)

## 《業務内容》

私が所属する特別救助隊は、火災や交通事故、さらには震災などの大災害において、人命救助を担っています。時には逃げ遅れた人を救うために燃え盛る炎の中へ、またある時には事故車両に閉じ込められた人を救うために事故現場へ、救助を必要とする人がいれば救助隊は必ず駆けつけます。災害現場の最前線で活動することは常に危険と隣り合わせなので、私自身も恐怖や不安がないわけではありません。それでも「人の命を救いたい！」その一心で自分を奮い立たせて活動します。

「訓練に終わりなし」という言葉を私たちは用いますが、人命救助のための知識、技術の向上にゴールはありません。突発的に発生するあらゆる災害に対応するため、様々な事案を想定した訓練を行います。また、救助隊が乗り込む救助工作車には多くの資器材が積載されていますので、それらを使いこなすための訓練にも取り組んでいます。さらには、24時間勤務を通して小隊のチームワークを形成することも重要な仕事です。5人で編成されている救助隊ですが、訓練のほか職場での生活全てを通して、家族同然と言えるほどの絆を深め、現場活動において阿吽の呼吸<sup>あうん</sup>を発揮しています。



## 《仕事に対するやりがい》

私たち救助隊の担う人命救助は、決して簡単なことではありません。災害現場に出動するたびにそのことを痛感させられます。時には辛い気持ちになることもあります。だからこそ、要救助者を救出し、本人やその家族の笑顔に触れた時には本当に消防という仕事を選んで良かったと思います。要救助者の命とともに、その家族の心も救えたことに喜びを感じます。また、消防という仕事は、仕事に注ぐすべての情熱が市民の方々の笑顔につながります。日々過酷な訓練に取り組み、私たち一人一人が成長し消防の質を向上させていくことが、市民の方々の不利益になることは絶対にありません。自信をもって迷わず働くことができます。

私は救助隊として人命救助の第一線で活動できていることに誇りを感じています。今後も妥協することなく一人でも多くの市民を守るよう救助業務に邁進していきます。

